

学校だより 10月号

学校教育目標

★「未来を拓く」東荷小教育

つ…強い心と体を持ち、か…賢い頭
をつくり、り…立志の実現のために努
力を続け、は…自分自身の花を咲かせ
る、たくましい東荷っ子の育成。

校 報

つか
東 荷

(何事も誠実に親切に)

平成27年(2015年)10月1日現在

1年… 1名 2年… 3名

3年… 0名 4年… 6名

5年… 4名 6年… 1名

児童数 合計15名(11家庭)

○発行：光市立 東荷小学校

○文責：[校長] 三浦龍夫

★情報があれば、お知らせ下さい!

秋季大運動会を振り返って

ふるさと東荷の絆

校長 三浦龍夫

9月20日の東荷小学校・東荷地域の秋季大運動会は、それぞれの団体の皆様がそれぞれの持ち味を十分に出し切る素晴らしい運動会でした。私は新任でついた周南市北部の小規模校で、学校の運動会とは別に開催される地域の運動会の経験はありますが、学校と地域が一体となった運動会は、何もかも初めて経験するものでした。初めての東荷小運動会で感じたことを挙げてみたいと思います。

①最後まで全力で走ることができた。

徒競走やリレーなどで、前の人と差が開いても最後まで全力を尽くすことを忘れなかった。

②一人ひとりが自分の表現の限界に挑戦した。

全校で取り組む一輪車では他校ではそうは真似できない一人ひとりの素晴らしいパフォーマンスで、感動的な演技ができた。

③係の仕事に一生懸命に取り組んだ。

応援合戦は朝や昼休み返上で全員で取り組んだ。そのほか開会式や閉会式での役割、さらに、進行上での役割など、たくさんの役割を担い、ここでも全員が主役だった。

④地域の方が競技に積極的に参加された。

綱引きや大玉送りなど、その場で参加する種目の運営にもすごく協力的だった。

⑤地域と一体となり「ふるさと東荷の絆は世界一」が実感できた。

これまで運動会のイメージは自分たちの演技以外は控席で応援というものでしたが、子どもたちは常にどこかで活躍していて、それぞれの団体の活躍も見ることができ、地域全体の活動発表会という印象を受けました。またいろいろご意見をいただき、さらに充実した運動会になるよう努力したいと思います。よろしくお願いたします。

— 吉田松陰の教育 ともに学ぶが基本 — 教職員として学ぶこと

① 子ども扱いはせず青年たちと議論させた。(いつか分かる時が来る)

② 身分や上下の関係はなく、先生も生徒も一緒になって考えることを基本とした。

③ 自分以外は皆「師」であり、学ぶことに貪欲であれと教えた。

④ 勉強は続けることが基本、よくないのはやったりやらなかったりすることだ。

⑤ 誰にでも必ずいいところがある。褒めてやる気を引き出すことが大切である。

至誠の教え・・・至誠にして動かざる者いまだこれ有らざるなり